

令和6年度 豊橋技術科学大学第三年次入学者選抜学力検査問題

一般科目（国語）

注意事項

- 一 試験開始の合図まで、この問題冊子と解答用紙を開いてはいけません。
- 二 問題冊子の枚数は、表紙、草稿用紙を含めて二十一枚です。解答用紙は六枚あります。
- 三 問題は大問が三問あります。全問解答してください。
- 四 試験開始の合図の後すぐに、すべての解答用紙の所定の箇所に受験番号を記入してください。
- 五 解答は必ず解答用紙の所定の欄に記入してください。所定の欄以外に記入した解答は無効です。
- 六 解答は楷書で正確に書いてください。判読に迷うものは不正解とすることがあります。また、選択肢の解答に際して、カタカナをひらがなに変更するなど、次のような改変は不正解となります。
(例) ア ↓ あ A ↓ a
- 七 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあれば、ただちに申し出てください。
- 八 問題冊子の余白は、草稿用として使用しても構いません。
- 九 試験終了時刻まで退出してはいけません。
- 十 問題冊子は持ち帰ってください。

(草 稿 用 紙)

「二」 次の文章を読み、質問に答えよ。

三年前の春、シンガポールに休暇で一週間ほど滞在する機会があった。

滞在したのは、シンガポールの南の沖合に浮かぶビーチリゾート、セントーサ島。ビーチリゾートと言えば聞こえはいいが、シンガポール本島との距離はわずか数キロ、東京で言えばお台場に泊まっているようなものである。海には無数のタンカーが浮かび、浜辺で泳ぐ気にはならない。ぼくと妻、幼い娘の三人はもつばら、ホテルのプールと都市観光で時間を潰した。

セントーサにはのち、二〇一〇年の春に大型カジノとユニバーサルスタジオが相次ぎオープンしている。A いまでは賑わいを取り戻していると聞く。しかし三年前の時点では、いちおう高級ホテルが立ち並んではいるものの、街路も公園もどこことなく古び、かつて栄華を誇ったBサビれた観光地という風体でI。

赤道直下なので春でも朝から蒸し暑い。毎日のようにスコールが町を襲う。テラス席で朝食をとっていると、汗がじわりと胸元を濡らし始める。①南のリゾートの魅力は、そのようにしてひとの思考力を朝から容赦なく奪うところにある。ところで、そんなある朝、ふと気がついたことがあった。

子どもたちがみなクロックス(注1)を履いている。

B 「むろん「みな」ではない。②それは紀行文にありがちの誇張だ。

しかしそれでも、そのとき、ぼくの娘を含め、かなりの子どもがクロックスのあの特徴のあるサンダルを履いていたことは事実である。娘が、おそらくは中国本土からの観光客の子どもだろう、黒髪の少し年上の男の子に2。娘はクロックスを履いていた。少年もクロックスを履いていた。よく見ると周囲の大人も履いていた。

黒髪の少年の母か祖母か、年配の女性がぼくの娘の足元を指して、中国語訛りの英語でうちの息子と同じ靴を履いているねと笑顔で話しかけてくる。どこで買ったのかと聞かれ、ぼくはハワイだと答えた。二〇〇七年の春には、クロックスは日本ではまだあまり知られていない。ぼくたち家族がそのサンダルを手に入れたのは、前年に訪れたハワイ島の小さなショッピングモールでのことだ。そのときはまさか、③その風変わりな合成樹脂の

サンダルが世界的な流行になるとは思ってもいなかった。だからぼくは中国人女性との会話で、はじめてクロックスがアジア中で履かれていることを知った。

④そして軽い目眩に襲われた。

額の汗を拭い、あらためてあたりを見回した。シンガポールは国際都市で、セントーサにも世界中から宿泊客が集まっている。テーブルのうえを、英語、ドイツ語、広東語、韓国語、じつにさまざまな言葉が飛び交っている。そして家族連れが多い。

彼らはむろん貧しくはない。しかし、かといって**⑥**フェウ層でもない。一年に数回、数千キロ、数万キロを旅し、家族とともに異国のリゾートで休暇を過ごすほどの経済力を備えたグローバルな上層中流階級^{アップミッドクラス}。そして、あらためて目を凝らせば、彼らの服装は驚くほど似ている。クロックスだけではなく。シャツもボトムもバッグも靴も、みなどこかで見たことのあるブランド、世界中どこでも購入可能で、そう高価でもなければ決して安物というわけでもない商品たちを身につけている。彼らの（そんな言葉がまだ適切なのであれば）階級的アイデンティティは、おそらくはそのラインナップに支えられている。彼らはそれぞれ、異なった政治体制、異なった宗教、異なった文化のもとに生きている。彼らはたがいに**③**意志ソツウすらできない。彼らの多くは片言の英語しか話せない。しかし、それでも、同じ消費行動、いわば**⑤**ショッピングという共通言語が、ほかのあらゆる差異を塗りつぶして彼らをたがいに 3。

暑さでばおつとなった頭で、ぼくはふと、全世界が資本家階級と労働者階級に二分され、歴史は両者の絶対的な闘争へと向かうのだと訴えた、あの有名な思想家の名を思い起こした。 C、それは一九世紀では真理だっただろう。いや、冷戦崩壊まではまだ部分的に真理だったのかもしれない。けれども、目の前の彼らは、資本家だろうか労働者だろうか。ぼくに話しかけた中国人女性の階級的利害はなんだろうか。ショッピングが支えるグローバルな階級意識について、マルクス（注2）ならどのような言葉を発しただろう。

⑥そんなものは虚偽意識にすぎないといって、歯牙にもかけなかっただろうか。

帰国の前日、ぼくたちはこんどは、伊東豊雄の設計で知られる大型ショッピングモール、ヴィヴォシティに出かけた。

ヴィヴォシティは波打つデザインが印象的な巨大建築物だ。セントーサとシンガポール本島を結ぶ橋の本島側、ハーバーフロントに位置している。ぼくたち家族は、じつは毎日のようにタクシーでその隣を、あるいはゴンドラで上空を通過していた。⑦けれどもそれ

までは、休暇でショッピングモール巡りもあるまいと訪問をためらっていた。ぼくたちは、空調の効いたヴィヴオシティを通り過ぎて、かわりに灼熱の日差しに焼かれるチャイナタウンやリトルインディアやアラブストリートやカトン（注3）を、ベビーカーを押して歩き回った。

観光客が観光に求めるのはエキゾチシズム（注4）だ。だから観光客はモールを避けて、伝統ある歴史的な市街地に足を運ぶ。エキゾチシズムを求める心が墮落か否か、それはここでは問うまい⑧（そもそもひとは墮落するためにこそリゾートに行くのだ）。いずれにせよ重要なのは、モールはグローバルで市街地はローカルで、したがって観光客は前者では見知った退屈な光景にしか出会わず、後者でこそ他者に会おうという二分法だ。ぼくたちもまたそれに④。

しかしその二分法は真実だろうか。ショッピングモールは本当に世界中どこでも同じだろうか。むろんショッピングは一方では、いまぼく自身が記したように、政治の差異を、宗教の差異を、文化の差異をすべて均しつるつるの表面にしてしまうローラーのような役割を担う。けれども他方で、その均質な表面にはやはりどうしようもなく地方性が、言い換えれば多様性が宿るのではないのか。そして本当は、その⑨「いちどつるつるを通り抜けた多様性」のほうが、⑩観光地化し、テーマパーク化した「歴史的市街地」の街並みなどよりもよほど強靱なものではないのか。

ぼくはその逆説を、ヴィヴオシティの三階、フードリパブリックと名づけられた平凡なフードコートを訪れたときに知った。

フードリパブリックは、世界中のどこにもあるテーマパーク型のフードコートだ。日本で言えば台場一丁目商店街や新横浜ラーメン博物館のようなもので、シンガポールの伝統的な屋台を⑪モした店が、ノスタルジックな内装に包まれて並んでいる。⑩だからそれはどこにでもある、見知った光景だ。

D、ぼくがその光景に強い衝撃を受けたのは、ぼくがすでに⑫本物の屋台を知っていたからである。シンガポール観光では、そもそも屋台料理は目玉のひとつだ。市内には「ホーカーズ」と呼ばれる屋台村が多数あり、観光客は必ずそのいずれかを試すべしとガイドブックに記されている。だからぼくと妻もまた、ガイドに従っていくつかを訪れた。しかるに、その現実の屋台村はどうだったか。客は観光客ばかりで、あるいは老人ばかりで、シンガポール人の生活に近づいている実感など皆無ではなかったか。それに較べてこの光景はどうだろう。なるほど、この屋台村は確かに偽物だ。スコールも降らない

し生ゴミの匂いもしない。しかしそこには現実の客がいる。現実の屋台村にはいなかった学生やカップルや家族連れで賑わっている。狭いベンチに身を寄せ合って座り、サテーターを啜るバクテーターを頬ばりラクササを啜っている人々がいる。たとえ環境がすべて偽物にすぎなかったとしても、そのいきいきと◎ケンソウは紛れもない本物だ。E、むしろこのシミュラクル(注5)こそが本物なのではないか。

少なくとも、⑬ぼくが出会いたい現実には、ヴィヴオシティの側にあつた。

ショッピングは歴史と文化の差異を均し、いままでの本物を偽物に変え、偽物を本物に変える。たとえモールが排除とセキュリティの論理のうえに作られた虚構であつたとしても、ぼくたちの現実はずでに5。

フードリパブリックを訪れたぼくたちはタイミング悪く満腹で、その味を試すことができなかつた。ぼくはそれをいまでも悔やんでいる。

⑭フードコートを駆け回る子どもたちも、やはり同じようにクロックスを履いていた。

東浩紀『思想地図β』創刊に寄せて(二〇一一年)より

注1 クロックス アメリカのクロックス社が販売している合成樹脂のサンダル。

注2 マルクス カール・マルクス(一八一八〜一八八三)。社会主義・共産主義理論を打ち立て、一九世紀以降の世界思想に大きな影響を与えた哲学者。

注3 チャイナタウン それぞれシンガポールの歴史的市街地の名称。

注4 エキゾチシズム 他国(異国)の文化や風物を自分たちとは異なるものとして憧れ、喜ぶ心情。異国情緒。

注5 シミュラクル この文章に出てくるショッピングモールのような資本主義社会の中で再生産されていく複製品のよ
うな存在のこと。

問一

傍線部①～③のカタカナ部分を漢字にした際、その単語に含まれる漢字と同じ漢字を含んでいる単語をア～オの中から一つずつ選べ。

① サビれた

ア 赤錆 イ 静寂 ウ 莊嚴 エ 閑散 オ 深淵

② フェウ層

ア 優雅 イ 遊興 ウ 浮動 エ 余裕 オ 赴任

③ 意思ソツウ

ア 従卒 イ 素描 ウ 阻害 エ 空疎 オ 訴因

④ モした

ア 近接 イ 真似 ウ 規模 エ 募集 オ 脆弱

⑤ ケンソウ

ア 清掃 イ 険悪 ウ 粗略 エ 勇壮 オ 騒動

問二

□A □B □C □D □E に当てはまるものとして最もふさわしいものを一つ

選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上選んではならない。

- ア にもかかわらず
- イ いや
- ウ だとすれば
- エ なるほど
- オ したがって

問三

1 5 にあてはまるものとして最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上選んではならない。

- ア どこか囚われていた
- イ その虚構のうえで動いている
- ウ ゆったりとした時間が流れていた
- エ 深く結びつけている
- オ 頼りない足取りで近づいていく

問四

傍線部①について、筆者は「南のリゾートの魅力」とはどんなものだと考えているか。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 日本の生活にはない健康的な生活を送り、身も心も入れ替えて健全な心と体を取り戻せるところ。
- イ 生活や仕事から解放されて、自由にやりたいことがなんでもできるところ。
- ウ 普段の生活にはない自然に囲まれながら、快適な設備を利用してレジャーを楽しめるところ。
- エ 高級ホテルに滞在し、豊かな食事やアクティビティを楽しむことで、家族と自分の豊かな生活のよさを満喫できるところ。
- オ 日常の心配や悩みから離れて、暑さに身を任せて怠惰に過ごせるところ。

問五 傍線部②について、ここでいう「ありがちの誇張」とはどういう意味か。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア ほとんどの人は自分の体験、経験を特別なものだと思っているので、それを文章にすると、読者には少々信じられないような表現や内容になってしまいがちなこと。
- イ 旅行などに行つて普段とは異なる珍しい状況を経験したことを文章にすると、読者の関心を引くために、事実よりも大げさな表現を用いること。
- ウ 紀行文というものはフィクションでもあるから、作者の実体験とはずれたり違ったりにしているのは当然であるということ。
- エ 人は旅行に行くとき、気持ちが大きくなりがちなので、普段だったらできないような大胆なことをしたり言ったりするということ。
- オ 自分の経験を文章にするとき、それは必ず過去の出来事なので、どうしても事実とは食い違ったり忘れてしまったりする部分を想像でおぎなってしまうということ。

問六 傍線部③について、筆者がクロックスのサンダルをこのように表現しているのはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 日本ではよく知られていないため、素材や形状の特殊性をできるだけ簡単にまとめ、読者に想像させようとしているため。
- イ 日本で流行する前から、アジアの上層中流階級の人々の中ではカジュアルファッションとして定着しており、自分はそれを知っていたということを伝えたいため。
- ウ 以前には見たことのない形状や素材と、それがグローバルに流行していることとのギャップを目立たせたいため。
- エ これほど急速に世界的な流行になるとは想像もしていなかったため、シンガポールで多くの人が使用しているのを見たときにそれをとて奇妙に感じたため。
- オ クロックスの特異な形と変わった素材は、グローバル化が進むアジアの状況を象徴しており、日本で流行するのが遅れたのは、日本がグローバル化に乗り遅れていることを暗示しているということを示すため。

問七 傍線部④について、筆者が「目眩に襲われた」のはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 様々な言語や文化の人々が集まるリゾートで、上層中流階級であろう人々が、均一化した身なりに収まっている状況を気にしていないことに失望したため。

イ アジアでは非常に多くの人々が、他の人たちと同じような服装をすることに迷いや恥ずかしさを感じず生きるようになっており、その状況に氣詰まりを感じたため。

ウ サンドルにしては高価なクロックスが大流行していることから、中国系の人々の経済成長と豊かな中間層が増大している事実を直感的に理解し、日本が遅れをとっていることの危機感に不安を覚えたため。

エ 様々な文化的・宗教的素地の違いがあるにもかかわらず、多くの観光客が衣服や身につけるものについては均質化されていることに驚いたため。

オ クロックスが世界的に流行しているということに氣付かないまま、ぼんやりとリゾートで日々を過ごしていたことに、自分の感度が鈍っているのではないかと恐れたため。

問八

傍線部⑤について、筆者が「ショッピングという共通言語」と表現するのはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 観光客の服装や持ち物がよく似ていることから、消費行動の単一化が、個性を喪失させつつも、文化の差異による争いを減らすことにもつながっているという事実が明らかになるから。

イ 共通する衣服や持ち物が、現在の世界の一定以上の階層は国の違いなどにはこだわらず、同じような経済水準の人々同士で新しい文化や習慣を生みだし、共有することができるという新たな階級意識を芽生えさせているから。

ウ 中流層におけるファッションや持ち物のグローバルな共通化が、世界から個性や多様性を失わせる方向に向かうのではないかという懸念を感じさせつつも、その場では平穩な人と人との交流を保証することになるから。

エ 同じような価格の同じようなブランドの衣服や商品を購入し使用することで、言葉や文化、宗教、習慣が違うはずの様々な地域からやってきた観光客が、同じような階層・社会の人々として違いを気にせず同じ場所で過ごせるようになるから。

オ 観光客の階層的なアイデンティティは、やや高めのファッションやブランドを購入・使用し、周りと比較して貧しく見えないようにするための格差や経済力の競争状態によつて形成されているから。

問九

傍線部⑥について、「そんなもの」が指しているのは何か。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 現在の世界では、ショッピングという行動によって階級的なアイデンティティが形成されるようになっていて、二〇世紀までは通用する部分のあつた資本家と労働者の対立という構図では理解できない社会構造になっているという認識。

イ 階級闘争を通じて社会を変革していく必要があるという考え方は、消費行動によって自分たちの豊かさを上層中流階級レベルだと納得させている人々が増えつつあるアジア地域では、有効性は失われているという認識。

ウ アジアでも中流階層が増えている現在、資本家対労働者という階級闘争的な対立構図は正しくなかったのだということがついに事実として世界的に理解され始めているという認識。

エ 筆者がある時期までは有効性を信じていた階級闘争によって社会が発展していくという世界観は、観光客のショッピングというごく当たり前の行動によって、あつてなく否定されてしまう程度のものでしかなかったという認識。

オ 社会主義思想を信じるということは、人々が豊かになっていくことを否定することになってしまうのだという二一世紀的な現実を、文化や宗教、政治体制の違いを超えて、世界中の人々が受け入れ始めているという認識。

問十 傍線部⑦について、筆者とその家族がショッピングモールへ行くのをためらっていたのはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア グローバル化の象徴のようなショッピングモールという、多様性が排除され均質化された場所に自分たちも取り込まれてしまうことを恐れたから。

イ 休暇をとってリゾートに来ているのに、ショッピングに体力を使つて、疲れて日本に帰ることになるのは避けたかったから。

ウ 海外のリゾート地という非日常の世界にやつてきたからには、その地でしか体験できない特有・固有の文化や食事を楽しまなければ意味がないという考えを持つていたから。

エ リゾートに滞在中、毎日ショッピングモールの近くを通り過ぎていたので、いつでも行けるという意識が強くなつてきたため。

オ シンガポールに来てまで、日本人が設計した建造物に行くことに抵抗があり、その土地の人々が作つた建物や場所を楽しんだ方が有意義だと思つたため。

問十一 傍線部⑧について、筆者はリゾートとはどのように過ごすところだと考えているか。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 自分たちの日常生活とは異なる文化を学んだり受容したりという積極性を示す必要はなく、心身を弛緩させて過ごすところ。

イ 自分たちのよく知らない異国の情緒を物珍しく楽しみ、非日常的な感動を通して自分自身を成長させる時間を過ごすところ。

ウ 外国の文化をエキゾチズムという観点から理解して、自分の国の文化と比較しながらその個性を受けいれ楽しむところ。

エ 日本のような近代的で快適だが退屈な環境から少し離れ、適度な刺激と新鮮さを味わうことによつて、自己肯定感を高められるようなところ。

オ 観光地・リゾートではできる限り日常を忘れ、自由な立場で世界を把握したつもりになるという自意識に心身を浸して気分を高めるところ。

問十二 傍線部⑨について、筆者は「いちどつるつるを通り抜けた多様性」とはどんなものだと考えているのか。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 経済的に豊かな地域の環境や人々の消費行動は同じようなものになりがちであるが、その同じようなものに見えても細部には地域性や個性が宿っていくものであり、それを見つけることが旅行の醍醐味であるということ。

イ グローバル化の下で、経済成長が進んだ国ならばどこでも見られるような同じように綺麗で同じように便利な場所こそ、現地の人々が歓迎し日常で利用している場所であり、現在の地域性・固有性が存在しているということ。

ウ 世界中で平均的に同じようになってしまった街の姿は、観光客にとってまったく魅力のない街であるが、だからこそ現地の人々にとっては過ごしやすい日常の生活空間になっていくのだということ。

エ ショッピングモールや現地の近代化した街は退屈でつまらないと思われがちだが、実はそこにこそ、その国の個性や文化が根付き、いい買い物ができたり現地の人々との交流ができたりするリゾートのよさがあるということ。

オ 一見個性を失った近代的なショッピングモールは、政治や宗教、文化や言語の違いを乗り越えるという利益を人々に与え、人々を引き寄せるので、その場所には新たな形の多様性が発現する可能性が高いということ。

問十三 傍線部⑩について、筆者は観光旅行先の「歴史的市街地」とはどんなものだと考えているのか。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 世界各地にあるテーマパークのように、観光客が喜びそうな特徴だけを残し、不快感や不便を感じさせるところや不潔さを排除した上で、生活感を維持し人々も居住させているという矛盾をはらんだ場所。

イ 本来はその土地の社会的・文化的・歴史的な固有性や特徴を象徴していたが、エキゾチシズムを求める観光客の興味・関心に合わせてその文化や歴史性が再整備されるようになった場所。

ウ 地元の人々が住んでいる場所であるが、観光客の消費行動を喚起するためにエキゾチシズムを強調し、商業的利便性を追求した街並みに再編成されたショッピングモールのようなになってしまった地域。

エ 文化的な特徴や歴史的価値の高い地域を国や自治体が観光用に保存し、文化遺産として人々のアイデンティティや歴史意識を高めるものとしていくと同時に、インバウンド等の利益を得られる文化財として活用しやすく整えられた地域。

オ その国の伝統的な価値観や文化を象徴している場所であり、地元の人々の誇りでもある一方で、観光客が押し寄せることで守るべきその国や街の独自の価値や文化が失われつつある場所。

問十四 傍線部①について、筆者がショッピングモールのフードコートを「見知った光景」と呼ぶのはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア その国の独自の歴史や文化とは無関係に、個性を感じない単一的なコンセプトで作られているフードコートで、世界中どこにでもあるファストフードを食べることは一見つまらない経験だが、実は国ごとのローカルメニューなども存在した穴場でもあるから。

イ ショッピングモールのフードコートは快適さと利便性を追求しがちなので、結果的にどこの国でもそれほど大差なく似たような外装で似たような料理を似たようなサービスマンで提供する形になりやすいから。

ウ ショッピングモールのフードコートは観光地化されている場合が多く、その国の文化や風習を知らない観光客の外国への興味・関心呼び起こししやすいように計算され作り込まれているので、手軽に観光旅行気分を高めることができるから。

エ その国の歴史や文化をモチーフにしつつ、共通の手法によって人工的に作られていることの多いフードコートは、日本にも各地に存在しており、多くの人が日常生活の中でその快適さと利便性に慣れ親しんでいるから。

オ その国の独自の歴史や文化と、ショッピングモールとは、従来正反対の理念で作られていると思われていたが、いずれも現地の人々が日常生活で便利に利用しているものであり、日本でもそれを十分経験しているから。

問十五 傍線部㉔について、ここでいう「本物の屋台」とは何か。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア その国の伝統的な料理を観光客向けにグローバル化した調理法で提供し、観光客が快適に食事と歴史を楽しめるようにした場所。

イ 観光地化されたことで価格が高騰し、また食の好みグローバル化した現地の人々からは避けられるようになっていた場所。

ウ その国の伝統的な料理を伝統的なスタイルで提供することを重視しているため、観光客が多くやってくるが、そのために現地の人々はあまり利用しなくなった場所。

エ ガイドブック等のメディアで公開されたために観光客が増え、混雑が激しくなったので、地元の客に対するサービスが悪化した場所。

オ 伝統を守るために、食の変化を受け入れないようにしているため、現地の若者にとっては古くさくて味覚の合わない店ばかりになってしまった場所。

問十六 傍線部㉕について、「ぼくが出会いたい現実」とは何か。その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 伝統文化のような上層中流階層向けの文化ではなく、労働者の側の生活を体験できる地元の市街地やショッピングモールのような場所のこと。

イ 地元の若者や家族に愛され、楽しめる場所として考えられている場所で、観光客が一時的でもその中に溶け込んだ気分を味わえる場所のこと。

ウ 地元の人々にとっては便利で快適で安く利用できるが、地元向けという印象が強すぎて観光客にとっては入りにくく近寄るのに尻込みしてしまうような場所のこと。

エ 偽物の文化が、利用価値と快適さを認められ本物の文化になり、本物であった伝統的な文化の方が忘れられているフードコートのような場所のこと。

オ 人の手で保護された「歴史的市街地」のような街ではなく、その土地に住んでいる人々が今まさに利用し、日々を過ごしている活動性を体感できる場所のこと。

問十七 傍線部⑭について、筆者は「クロックス」はどんな存在であると考えているか。本文全体をふまえ、その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

文全体をふまえ、その説明として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア クロックスは多様な文化的差異がグローバル化の中で均質化されていくことの象徴であるが、それは同時に、グローバルな文化も日常生活の中に定着することによって、ローカル文化の一つに置き換わっていくという現代の状況を提示している。

イ シンガポールの地元民でショッピングモールのフードコートを利用するのは生活水準の高い人々であり、観光客もまた経済的に中上層の人々なので、同じクロックスを履いているという事実が、経済水準による新たなグローバル的連帯の誕生を証明している。

ウ クロックスが日本以外の地域ではいち早く流行し、老若男女が使用する状況は、グローバル化とローカル文化の対立や、経済格差による階層対立という考え方はすでに二〇世紀的であり古くなっているということ象徴している。

エ クロックスが観光客だけでなく地元の人々にも普及しているという事実は、シンガポールがグローバル化をむしろ自分たちのローカルな文化として消化している状況を示しており、そのような柔軟性がシンガポールの人々の経済力が観光客と同じ水準にまで達していることの原動力であることを表現している。

オ 観光客とは地元の人々にとっては異なる存在であるが、同時に外の世界の文化を運び込んでくる存在でもあるので、そのような人々が日常的に数多く訪問してくることで、地元の文化や社会がさらに発展をすることをクロックスが証明している。

〔二〕 次の(一)～(五)の単語の対義語となるように、ア～コの漢字を正しく組み合わせて単語を作り、記号を記入せよ。ただし、1/2、3/4、5/6、7/8、9/10のそれぞれが正しい単語となっている場合のみ正解とする。

(一) 固執 ↓ 1/2

(二) 傑物 ↓ 3/4

(三) 丹念 ↓ 5/6

(四) 集中 ↓ 7/8

(五) 率先 ↓ 9/10

ア	散	イ	随	ウ	人	エ	追	オ	協
カ	凡	キ	雑	ク	漫	ケ	妥	コ	粗

〔三〕 次の(一)～(十)の文章の内容に最も関係している慣用句をア～コの中から一つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上選んではならない。

- (一) 大学時代の友人が起業した会社が順調に成長しているのを見てみると、勇気を出して自分も一緒に参加すればよかったと悔やんでしまう。
- (二) 最近動画配信サイトでデビューした歌手は、その非常に美しい歌声で多くのファンを獲得し、すでに一億回以上も動画が再生されている。
- (三) 先日購入したミステリー小説は、昭和時代の設定なのにネットスラングを使っていたりスマホを持っていたりで、時代考証がめちゃくちゃだった。
- (四) 別れた恋人のことを思い出すと本当につらく、涙が止まらなくなってしまう。
- (五) 車を買って換えたばかりだが、アメリカで発表された新型の電気自動車に非常に魅力を感じている。
- (六) 私の高校バスケット部の顧問はささいなミスでもすぐに生徒をどなりつけていたが、今は優しく穏やかになって生徒たちにも好かれていると聞き、心底驚いた。
- (七) 私の上司は私が新卒社員というだけで全く意見を聞いてくれない。
- (八) 子供の頃、夜中にトイレに起きたとき、両親や親戚の大人たちが居間に集まってこそこそと何か話し合っているところを見たことがある。
- (九) 鈴木さんはとても優秀で勤もするどく、設計図やデータのミスなどもすぐに見つけて修正をしてくれるので、本当にありがたい。
- (十) 私は学園祭実行委員長になって、多くのイベントを企画したり、委員のみんなをばげましたり指示したりしながら、見事にその仕事をやりきった。

ア 食指が動く

イ 額を集める

ウ 臍をかむ

エ 木に竹を接ぐ

オ 音頭を取る

カ くちばしが黄色い

キ 玉を転がす

ク 角が取れる

ケ 袖を絞る

コ 目から鼻に抜ける